

今日の日付

今日は2024年10月31日(木)です

企業情報検索

会社名を入力してください(例:ニフティ)

完全一致 前方一致

※より細かい絞り込み検索や、最終決算日の確認には、「企業情報検索検索」をご利用ください

お知らせ

ビジュアルで分かる、業界の動向と未来  
日経記者によるレポートで迅速な意思決定をサポート  
サンプル・業界一覧(約400)はこちら

※@nifty IDでログインが必要です

2024年10月1日より企業情報の一部メニュー料金を改定いたします

※詳細はこちらよりご確認ください

ご利用方法

Step 1. 会員登録(無料)  
個人の方は「@nifty会員登録」、法人の方は「法人コンテンツコース」にてご登録ください

個人の方の登録はこちら

法人の方の登録はこちら

Step 2. 利用したいコンテンツを選択  
コンテンツカテゴリ一覧などから、ご利用・ご購入したいコンテンツをお選びください

Step 3. ログイン・購入手続き  
サービス内容をご確認の上、Step 1で取得したアカウントとパスワードでログインし、購入手続きへお進みください

サービスカテゴリ一覧

企業・信用情報

人事・人物情報

新聞記事(一般紙)

新聞記事(専門紙)

雑誌記事

市場調査・レポート

投資・ファイナンス

リリース

住宅地図・法律

初めての方へ(Q&A)

ビジネスデータとは？

ID・パスワードを忘れた場合には？

ビジネスデータでは、どのようなコンテンツを提供されていますか？

そのほかのQ&Aはこちら

会社名を入れるだけで与信調査ができる！

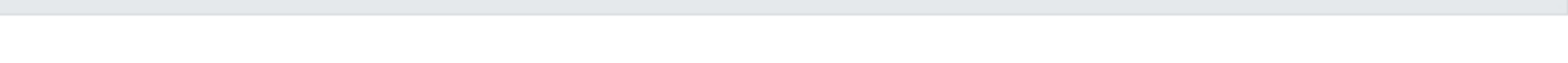
@nifty IDですぐ使える 帝国データバンク

社給 法人向け格安SIM コスト削減 NifMo

法人向け 高速・高品質 接続サービス @nifty 光ライブ with フレッツ

トップ リリース レイラ・ピニエイロ&ヒカルド・バセラルー ブラジル音楽の巨星ジョアン・ドナートに捧げるアルバムをリリース

プレスリリース



JASMIN MUSIC

▶ プレスリリース一覧 ▶ 企業情報

レイラ・ピニエイロ&ヒカルド・バセラルー ブラジル音楽の巨星ジョアン・ドナートに捧げるアルバムをリリース

(PR TIMES) 2024年09月28日(土)08時15分配信

PRTIMES

ジョアン・ドナートが亡くなる前に遺した未発表曲も収録9月27日配信スタート

【動画1: <https://www.youtube.com/watch?v=3aNGY0VfEA>】

【画像1: [https://prcdn.freets.fastly.net/release\\_image/127766/5/127766-5-749e877ec996ea749939760ea9547f76-3840x2160.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff](https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/5/127766-5-749e877ec996ea749939760ea9547f76-3840x2160.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)】

レイラ・ピニエイロ、ヒカルド・バセラルー

歌手のレイラ・ピニエイロ(Laila Pinheiro)とマルチプレーヤーのヒカルド・バセラルー(Ricardo Bacelar)がタッグを組んで制作したアルバム「ドナート」(Donato)の配信が今月27日(金曜日)にスタートする。同アルバムには、ブラジルの作曲家・ミュージシャン・アレンジャーで、生きていたのは今年の8月17日で90歳の誕生日を迎えるはずだったジョアン・ドナートの楽曲が新たな解釈で収録されている。

ドナートの楽曲に没頭する作業にレイラを誘ったのはヒカルド・バセラルーの方だった。アルバム全編でピアノの音響を担当したバセラルーは、「ドナートの作品に新たな視点をもたらすようなアルバムを作りたいかった。レイラはジャズ・スタジオのあるフォルテレーザまで来てくれ、レコーディング初日に早速二人で「ルガル・コムム」(Lugar Comum)、「ア・ハン(A R)」の2曲を吹き込んだ。ミュージシャンでもある彼女と一緒にハーモニを紡ぎながら、演奏・録音していく作業は全てが自然な流れで進行した。レイラは歌手としてもピアニストとしても、正確かつ要求の厳しいアーティストであり、我々二人のコミュニケーションは円滑だったと話す。

【動画2: <https://www.youtube.com/watch?v=LxLdJS4cyp0>】

【画像2: [https://prcdn.freets.fastly.net/release\\_image/127766/5/127766-5-f5c863bd97056adb4c0a4919dee58277-1161x898.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff](https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/5/127766-5-f5c863bd97056adb4c0a4919dee58277-1161x898.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff)】

レイラ・ピニエイロ、ヒカルド・バセラルー

「ヒカルドのスタジオはこれまで私がレコーディングに使ったことのあるスタジオの中でも屈指の素晴らしい施設で、ジャズ・レコードというレベルの存在も知っていたが、随分変わったオファーだなというのが正直な印象だった。ドナート作品はそれまでに何曲もレコーディングしており、ステージでの共演も多く、ドナートは1988年リリースの私のファーストアルバムに参加、私も彼のDVD「ドナトゥラル(DonatURAL)」に参加するなど、私にとって偉大な存在であるドナートに捧げるアルバムをこの時期に作るという選択数は自分にはなかった」とレイラは話す。「ヒカルドからオファーを受けた時には、ドナートの生涯90年に合わせた発表のタイミングが絶妙に思え、また自分にとっては大きな挑戦になると感じた。」これまでに素晴らしいレコーディングやアレンジがされている曲に新たなアプローチを採ることは、ある意味では作曲家のオリジナルのコンセプトを解体するような作業で、「ヒカルドのことを、そして彼が揮毫するものや、我々二人の出会いから生まれてくるものを全面的に信頼して、体当たりで取り組む」といふ。

ピアノとヴォーカルによるアルバムのレコーディングに、ジャキス・モレレンバウムが加わって新たな輪郭が生まれた。モレレンバウムについてヒカルドは、「彼とは以前アルバム『アンダール・コン・ジル(Andar com Gil)』のレコーディングで共演したこともあって参加を依頼した。今回のアルバムへのジャキスの貢献は大きく、曲のアレンジは我々三人が協力して作り上げたと言っても過言ではない」といふ。レイラも「我々はドナートと一緒にジョアン・ドナートと共作者たちの作品を深読み込んだ」と語っている。

アルバムに収録されたドナートの作品12曲は、カエターノ・ヴェローゾ、ジルベルト・ジル、ホナウド・バストス、アベル・シルヴァ、シコ・ブアルケ、マルロン・セッチ、シルヴィオ・フラウガ、リジマス・エニオとの共作。この中で唯一の未発表曲である「コンタス・ジ・ヴィードロ(Contas de Vidro)」は、作曲家ドナートの生前にイヴォネ・ペレンを通じてレイラ・ピニエイロの手に渡った。「この曲はドナートとジョアン・ジルベルト、リジマス・エニオとの共作で、これまでインストゥルメンタルバージョンしか録音されていなかった。ドナートがイヴォネとの電話中にこれを送ったら、レイラは大喜びするなと言っている声が聞こえたが、まさにその通りになった。この曲と『ヴェルボス・ド・アモール(Verbos do Amor)』では私がピアノを演奏した」とレイラは話す。ヒカルド・バセラルーは、この曲と名曲「ナトゥラルメンテ(Naturalmente)」でレイラとヴォーカルを共にしている。

予定されていたドナートの特別参加も実現しなかった。「リオに行って一曲ドナートにも参加してもらおう計画だったが、残念なことにレコーディングの前に亡くなってしまった」といふ。

ジャキス・モレレンバウムは、「ア・ハン(A R)」、「アサフラオン(A Afro)」、「ナケラ・エスタサオン(Naquela Estao)」、「ナトゥラルメンテ(Naturalmente)」、「コンタス・ジ・ヴィードロ(Contas de Vidro)」、「ジャキ・ヴォセ・ド・モチーフ(Ja Que Voce Deu Motivo)」、「ヌア・イデア(Nua Ideia)」、「フロール・ジ・マラジャール(Flor de Maracuja)」、「ブリーザ・ド・マル・ヘスルプレーザのメドレー(Brisa do Mar / Surpresa)」の8曲でチェロを披露している。

今回のアルバムの前にも、レイラとバセラルーはジャズ・ミュージックからリリースされた2作品で共演している。2023年には、レイラはボサノヴァ界の重鎮ロベルト・メネスカルの誘いを受け、メネスカル本人とヒカルド・バセラルー、チオゴ・モノノの合作アルバム「ノス・イ・オ・マル(Nos e o Mar)」に収録された「イ・イ・イ・ブラジル(Bye Bye Brasil)」(作詞・作曲ロベルト・メネスカル、シコ・ブアルケ)のレコーディングに参加した。さらに同年の年末には、二人で「セメント・ジ・マレ(Semente da Mare)」(作詞作曲ギョエルメ・アランテス)をシングルとしてリリースしている。

アルバム「ドナート」のサウンドは、レイラ・ピニエイロとヒカルド・バセラルーが入念にこの作品を作り上げたことを反映している。「ドナート作品の扱われ方については、最新の注意を払った。彼の楽曲のような偉大な作品に新たな解釈を加えようとする場合、大きな敬意や厳密さが求められる」。レイラの考えでは、このアルバムには若い世代のピアニストや歌手、アレンジャーにドナート作品を紹介するという役割もある。「聴いた人が驚くような独自の視点を与えることができるのはとても興味深い経験だった。このアルバムは言うなれば誰も見たことのないジョアン・ドナートの肖像写真だと言える」。

プロフィール

ジョアン・ドナート(ジョアン・ドナート・ジ・オリヴェイラ・ネト)はアクリ州生まれの作曲家、ミュージシャン、ピアニスト、アコーディオン奏者、歌手で、2023年7月17日に他界。ボサノヴァ・ムーブメントに参加し、米国ではラテンジャズを広めた。2023年にはアルバム「セロトリーナ(Serotonina)」でラテングラミー賞を受賞するなど、世界に向けたブラジル音楽の発信に多大な貢献をした。

ヒカルド・バセラルーはピアニスト、作曲家、音楽プロデューサーで、自身のレベルであるジャズ・ミュージックを立ち上げ、現在ブラジル国内で最も重要なレコーディングスタジオのオーナーでもある。リオデジャネイロの人気グループ、ハ・イ・ハ・イのメンバーとして長年活躍。ソロアーティストとしては、ベルキオール、イヴァン・リンズ、ジルベルト・ジル、ファグネル、ロベルト・メネスカル、フラヴィオ・ヴェントゥリーニ、エチナルド、アメリカといった大物ミュージシャンたちとレコーディングしている。また米国のジャズ専門ラジオ局でも最も頻繁にオンエアされたアーティストの一人に入ったことが2度ある。ヨーロッパや日本でもツアーを行っており、2024年には東京ブルーノート・プレイス公演を含む8公演の日本ツアーを開催した。

MPBやサンバ、ボサノヴァの歌手であり、ピアニスト、作曲家としても活躍するレイラ・ピニエイロは、44年のキャリアを持つ。ロベルト・メネスカルがプロデュースしたアルバム「Beno Bossa Nova(ベンサン・ボサノヴァ)」の記録的ヒットでボサノヴァアーティストとしての名声を確立。これまでに多くの賞を獲得しており、来日公演も行っている。アンニオ・カルロス・ジョビム(Tom Jobim)、ジョアン・ドナート、イヴァン・リンズ(Ivan Lins)らブラジル音楽を代表するアーティストとも共演。代表曲はジョビム作曲の「Espelho das Aguas(エスベリョ・ダス・アグアス)」、フラヴィオ・ヴェントゥリーニ(Flavio Venturini)とムリロ・アントワーニス(Murilo Antunes)作曲の「Besame(ベサメ)」など、ピアノは10歳から演奏している。

ドナート - レイラ・ピニエイロ&ヒカルド・バセラルー  
feat. ジャキス・モレレンバウム

収録曲

A R (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ  
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

2. Lugar Comum (ジョアン・ドナート/ジルベルト・ジル)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ

3. Afro (ジョアン・ドナート/マルロン・セッチ/シルヴィオ・フラウガ)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ  
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

4. Naquela Estao (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ/ホナウド・バストス)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ  
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

5. Brisa do Mar - Surpresa (ジョアン・ドナート/アベル・シルヴァ, ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ  
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

6. Verbos do Amor (ジョアン・ドナート/アベル・シルヴァ)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル, ピアノ  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ

7. Naturalmente (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラルー - ピアノ, ヴォーカル  
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

8. Cade Voce (ジョアン・ドナート/シコ・ブアルケ)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ

9. Contas de Vidro (ジョアン・ドナート/ジョアン・ジルベルト/リジマス・エニオ)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル, ピアノ  
ヒカルド・バセラルー - ヴォーカル  
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

10. Ja Que Voce Deu Motivo (ジョアン・ドナート/ホナウド・バストス)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ  
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

11. Nua Ideia (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ  
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

12. Flor de Maracuja (ジョアン・ドナート/リジマス・エニオ)  
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル  
ヒカルド・バセラルー - ピアノ  
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

カバー:MEK  
ジャズ・スタジオにて録音  
レコーディング:メウク  
ミキシング:バト・ネヴェス(マンドゥーリノ・スタジオ)  
マスタリング:カルロス・フレイタス  
プロデュース:ドナート - レイラ・ピニエイロ&ヒカルド・バセラルー

プレスリリース提供: PR TIMES

PR TIMES詳細へ

このページの先頭へ戻る

▶ 特定商取引法に基づく表記 ▶ お問い合わせ

ビジネス | 企業情報 |

関連サービス ニュース 賃貸 マンション 一戸建て

@nifty Top

ウェブサイト利用ガイドライン | 個人情報保護ポリシー

©NIFTY Corporation